

3 学年便り

No.3 H25.6.1

先月 5 月に中間考査がありました。生徒達は試験が終わりほっとしていることと思われます。しかし、今月末から期末考査が始まります。

3 年生にとって、1 学期の成績は、1 学期の評価ともう一つ大切なもの「**3 学年仮評定**」がつきます。この「**3 学年仮評定**」は、進路を決定するうえでとても大切なものになります。1・2 年の評定・そして 3 年の仮評定の合計の平均値が「**評定平均値**」とあって、推薦入試や就職などの校内選考の資料になります。ですから、3 年生にとって、1 学期は人生を決める大切な成績になります。中間考査は終わってしまいました。ですから、この期末考査がいかに大切なものなのか理解されたと思います。さあ、心を引き締めて学習に取り掛かりましょう。

6 月の行事予定

1 日 (土)	衣替え・漢字検定
3 日 (月)	評議委員会
5 日 (水)	芸術鑑賞 (午後)
6 日 (木)	衣替え移行期間終了
8 日 (土)	ST・S 授業日・英語検定
12 日 (水)	尿検査 未提出者
15 日 (土)	ニュース時事能力検定
17 日 (月)	3 年 A・B 三者面談・B 日課
~	~
21 日 (金)	3 年 A・B 三者面談・B 日課
22 日 (土)	ST・S 授業日
25 日 (火)	期末考査
~	~
28 日 (金)	期末考査・頭髪・服装チェック・就職ガイダンス
29 日 (土)	ST・S 授業日



1 組のクラス懇談の様子

7 月の行事予定

1 日 (月)	評議委員会・就職求人票公示
2 日 (火)	ST・S 模試
3 日 (水)	防災訓練・野球応援練習 (5・6 h)
4 日 (木)	野球応援練習 (3・4 h)
6 日 (土)	就職模擬試験
13 日 (土)	ST・S 授業日
17 日 (月)	3 年 A・B 課外談 (26 日まで)・B 日課・ST・S 課外 (30 日まで)
23 日 (火)	追認考査
26 日 (金)	ST 校内合宿 (27 日まで)
30 日 (火)	ST・S 河合マーク模試



1 組のクラス懇談の様子

PTA 総会報告 (5月18日)



各クラスの授業参観が行われました。
普段見られない授業を観て頂きました。工夫を凝らした授業は面白かったですでしょうか。

PTA 総会報告 (5月18日)



心の教育 ～自分の才能

に生きる～

人間の基本能力は①記憶力②想像力③統合力④融和力があります。その中で記憶力（受動能力）と想像力（能動能力）があり表裏一体である。40代から統率力が出る。中小企業の社長が多くその能力を持っている。融和力は誰にでもある。これは近くにいると心地よい人である。

とにかく劣等感を持つてはいけない。劣等感を持つと元気がなくなる。劣等感は能力を伸ばさせない。

PTA 総会報告 (5月18日)



PTA 総会では24年度事業報告・各収支決算・25年度事業計画・収支予算審議・役員表彰・任命がありました。

そして、新任教員の紹介がありました。

PTA役員の方々お疲れ様でした。ありがとうございました。

学年懇談会報告 (5月18日)



学年懇談会は

①日本政策金融公庫の融資課長の瀬戸 康雄様から教育ローンの説明

②神永学年主任挨拶

③久賀谷進路指導主事の説明

④宮崎就職指導担当の説明

⑤担任・副担任挨拶

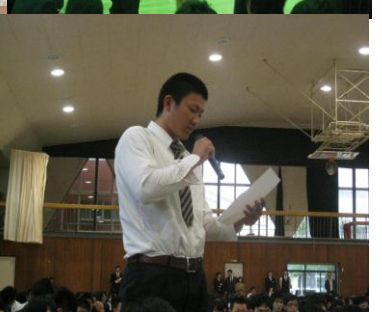
がありました。

24年度懇談会 (5月18日)



各クラス担任との懇談会がありました。様々な相談や学校の様子など有意義な時間が過ごせたと思います。議題の中心は当然「進路」についてでした。我々も直接保護者の皆様と話が出来て楽しい時間を過ごさせていただきありがとうございました。

1学年総会報告 (5月20日)



生徒総会での議事は①平成24年度活動報告・収支決算報告②平成25年度活動計画・予算③部室健屋老朽化に対する学校の対応について 3つの事に話し合われました。

進路講演会(5月30日)



30日(木) 5・6時間目に進路講演会

ということで、東日本国際大学より浅井義彦教授をお招きし、「宇宙開発から何を学べるのか?」という題目でご講演をいただきました。

宇宙開発をテーマにした壮大なお話で、多少難しい内容ではありましたが、浅井教授は身近なものごとに置き換えて、日常の世界観についてお話をしてくれました。

例えば、我々が普段当たり前だということが本当にそうであるのか?ということ。普段の生活で常識だと思うことを疑う視点も必要であり、その姿勢が現在の多様化している世の中で生きていくために必要なことであると教えていただきました。

そして、我々は地球上のルールに乗っ取り生きているが、宇宙規模で考えたときに、そこには我々の感覚とは遠い別なルールがあるのではないか。そして我々はそのルールに沿って生きていかなければならないという日が近々来るかもしれない。「地球上のルールは宇宙では通用しないのかもしれない」という大きな規模の話に、生徒達は気持ちを膨らませながら話を聞いていました。

少々難しい話ではありましたが、生徒にとっては大学の講義はこのようなものなのかと感ずることができた、貴重な時間だった様子でした。